

水道事業のディスクロージャー

ディスクロージャーとは、企業の情報開示という意味です。

水道事業会計は、地方公営企業法に基づき企業会計方式（複式簿記）で財務管理されています。民間企業と類似した形で決算処理され、損益計算書、貸借対照表やキャッシュフロー計算書を作成し、単年度の損益、保有する資産状況や、一年間の現金の動きなどを示すことができます。

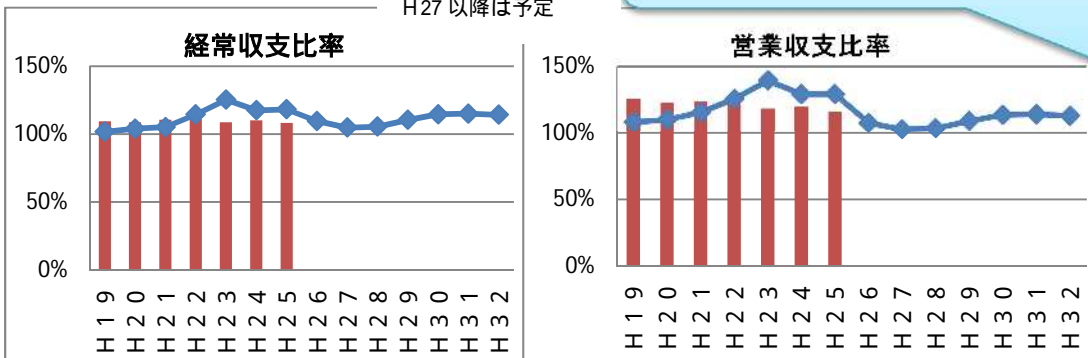
市の予算を管理する一般会計や特別会計（簡易水道・下水道事業等）は、現在、単年度決算主義で財務管理されているため、民間企業とは異なる決算処理が行われています。今後、全国的に自治体予算についても公会計方式（複式簿記）が導入される予定であり、民間企業に類似した経営指標が把握できるようになります。

主な経営指標

経営の健全性について

折れ線 = 富良野市
棒グラフ = 類似団体
H27 以降は予定

水道事業は企業会計方式で経営され、民間企業と類似した経営指標で分析できます。



経常収支比率 = 経常収益/経常費用 (H26 109.6%)

経常収支のバランスを数値化。数値が高いほど安定経営を示す。

営業収支比率 = 営業収益/営業費用 (H26 107.6%)

営業収支のバランスを数値化。数値が高いほど安定経営を示す。

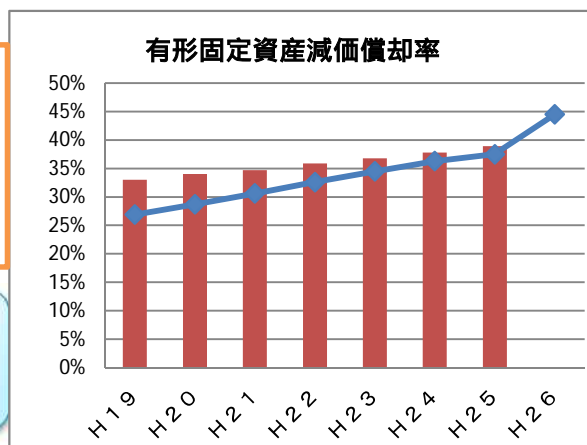
類似団体の平均より若干高めで推移し健全な経営水準でしたが、平成26年度から各指標に落ち込みがみられます。これは配水管等の施設修繕や減価償却費の増加が要因であり、計画的な修繕等の実施により改善する見通しとなっています。

老朽化の進捗状況について

折れ線 = 富良野市
棒グラフ = 類似団体

有形固定資産減価償却率 (H26 44.5%)

償却資産に対する減価償却済の割合を示すもので、減価償却の進み具合や資産の老朽化の度合いを示し、今後の設備投資計画の参考とすることができます。



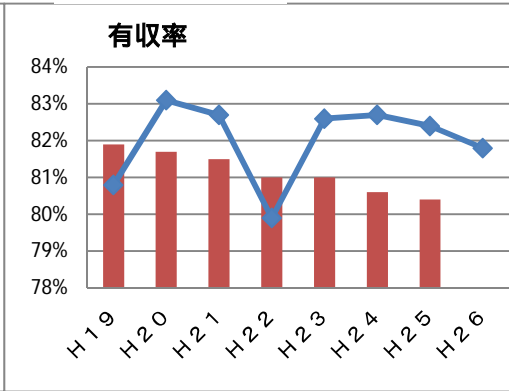
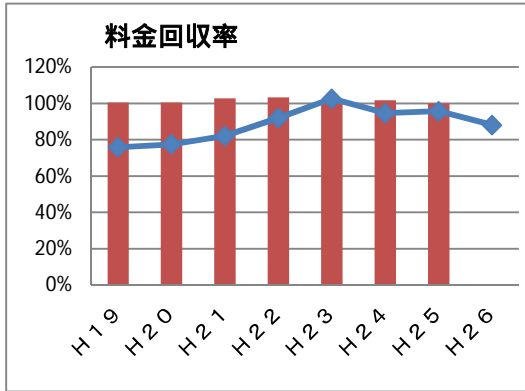
比率は右肩上がりで老朽化が進んでいることがわかります。水道事業は昭和39年から通水しており、耐用年数（配水管40年など）を経過した資産（設備等）の割合が多くなってきています。



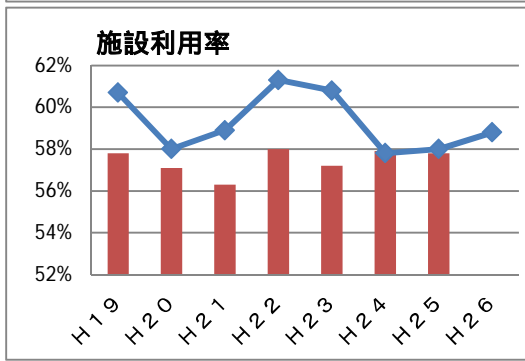
経営の効率性について

折れ線 = 富良野市
棒グラフ = 類似団体

水道料金表 (単位: 円)



用途	基本料金 (1月当たり)		超過料金 (1m³)
	一般	8 m³	1,447.2
営業	16 m³	3,358.8	259.2
団体	16 m³	3,488.4	259.2



料金回収率とは (H26 88.1%)
給水に係る費用を水道料金で賄えたかを示すものです。100%以下の場合には不足分があることを意味しています。

有収率とは (H26 81.8%)
年間配水量に対し料金化された水量を示すもので、H22は無効水量の増加で落ち込みましたが、類似団体よりも効率的な状況であることがわかります。

施設利用率とは (H26 58.8%)
施設の配水能力に対する配水量の割合を示すもので、100%に近いほどフル稼働していることを示します。

料金回収率は規模の小さな自治体では施設整備や維持管理費に対し料金収入が少なくなるため必然的に低くなると言われています。有収率、施設利用率は一時的な落ち込みはありますが、類似団体より効率性が高いことがうかがえます。



～平成 26 年度決算財務諸表～

～特記事項～

地方公営企業法の改正に伴い、平成 26 年度決算より財務諸表の仕訳区分が大きく変更されたため、前年度との対比は掲載していません。詳しくは、市HPをご参照下さい。

損益計算書

1. 営業収益 384,253 千円
 2. 営業費用 357,269 千円
 3. 営業外収益 83,123 千円
 4. 営業外費用 69,231 千円
- 経常利益 40,876 千円
5. 特別損失 2,968 千円 (制度改正影響分)
- 当年度純利益 37,908 千円**

貸借対照表

資産の部	負債の部
固定資産 3,428 百万円	負債合計 3,294 百万円
流動資産 526 百万円	資本の部
資産合計 3,954 百万円	資本合計 660 百万円
	負債資本合計 3,954 百万円

キャッシュフロー計算書 (H26.4.1 ~ H27.3.31)

業務活動によるキャッシュフロー	159,727 千円
投資活動によるキャッシュフロー	72,465 千円
財務活動によるキャッシュフロー	100,487 千円
資金増加額	13,225 千円
資金期首残高	530,191 千円
資金期末残高	516,966 千円

■道内「市」の水道料金

(高い順: 10 m³当り H25 現在)

1. 夕張市 2,956 円
2. 深川市 2,561 円
3. 北広島市 2,362 円
15. 富良野市 1,827 円
32. 函館市 745 円

